

大田区高齢者等実態調査へのご協力をお願い〈第2号被保険者調査〉

日ごろから大田区政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、区では「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第10期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画～」の策定に向け、区民の皆様のご意見をうかがうため、「大田区高齢者等実態調査」を実施します。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の充実に向け、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月
大田区

1. 本調査の対象者について

○調査の基準日である令和7年10月1日現在、介護保険の第2号被保険者のうち、要介護・要支援認定を受けていない55～64歳の方の中から1,300名の方を無作為に選び、ご回答をお願いしています。

2. 本調査へのご回答について

○回答にあたっては、封筒のあて名のご本人についてご記入ください。
○あて名のご本人が回答できる場合は、ご本人が回答してください。
○ご本人が回答できない場合は、ご家族等がご本人の立場で代わりに回答してください。

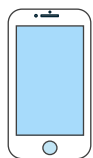
3. 個人情報の取り扱いについて

○この調査は、効果的な高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区で適切に管理いたします。
○本調査票へのご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものといたします。

4. 回答方法について

○ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和7年12月1日(月)**までにポストに投函してください。なお、返信用封筒に切手を貼る必要はありません。

インターネットでアンケートに回答することもできます。



スマートフォンのカメラ機能で右の二次元コードを読み取ります。



パソコンで大田区ホームページのトップ画面からページ番号338795899で検索します。

キーワード検索

ページ番号検索

○URLのポップアップを押します。

338795899



ログイン画面で管理番号 5330001 、パスワード 1234 を入力します。

お問合せ先

大田区福祉部高齢福祉課計画担当 電話：03-5744-1257
介護保険課計画担当 電話：03-5744-1732



©大田区

《1. あなた（あて名のご本人）のお住まいの状況についてうかがいます》

問1 家族構成を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし |
| 3. 二世代の世帯（未婚の子どもまたは子ども夫婦と同居） | 4. 二世代の同居（親と同居） |
| 5. その他（ ） | |

問2 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） | 3. 公営賃貸住宅 |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他（ ） | | |

問3 現在の住まいについて、今後も住み続けるにあたり心配、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 住宅がバリアフリーになっていない | 2. 居室が狭い |
| 3. 空調がない、設置できない | 4. 建物が老朽化し、耐震性に不安 |
| 5. ローン、家賃が高く経済面で不安 | 6. 修繕等の必要経費の確保が難しい |
| 7. その他（ ） | 8. 特に心配や不安を感じることはない |

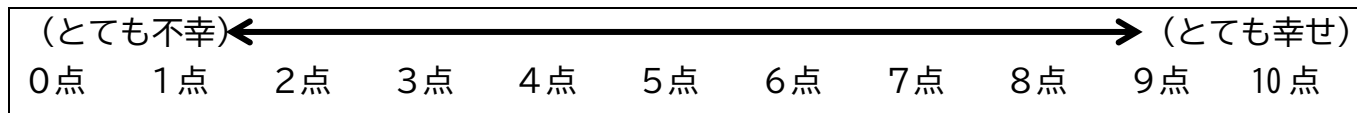
《2. あなたの健康についてうかがいます》

問4 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問5 あなたは、現在どの程度幸せですか。（あてはまるもの1つに○）

※「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、点数に○をつけてください



問6 日ごろから相談できるかかりつけ医はいますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------------|-------------------------|--------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症（脂質異常） |
| 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） | |
| 11. 外傷（転倒・骨折等） | 12. がん（悪性新生物） | |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 | 15. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 16. パーキンソン病 | 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他（ ） | | |

問8 いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、①これから取り組んだ方がよいことは
 なんだと思いますか。また、②今実践していることはありますか。

(あてはまるものすべてに☑)

内容	①取り組んだ方がよい	②今実践している
1. 足腰の筋力を鍛えること	☐	☐
2. バランス能力を高めるような運動をすること	☐	☐
3. 適正な体重を維持すること	☐	☐
4. バランスの良い食生活をする	☐	☐
5. タバコを吸わないこと(禁煙・減煙・分煙)	☐	☐
6. お酒の飲み方に気を付けること(休肝日を設ける等)	☐	☐
7. 定期的に健康診査を受けること	☐	☐
8. 歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること	☐	☐
9. 近所づきあいをする	☐	☐
10. 趣味を持つ	☐	☐
11. 仕事をする	☐	☐
12. 地域活動やボランティアに参加	☐	☐
13. 認知症にならないように脳トレ	☐	☐
14. その他()	☐	☐
15. 特にな	☐	☐

《3. あなたの現在の生活についてうかがいます》

問9 趣味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 趣味あり(具体的に:)	2. 思いつかない
-----------------	-----------

問10 生きがいがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 生きがいあり(具体的に:)	2. 思いつかない
-------------------	-----------

問11 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問 12 日常生活での心配ごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. ご自身や家族の健康 | 2. 家族の介護 |
| 3. 地震・台風等の自然災害 | 4. 独居・孤独への不安 |
| 5. 住まいのこと | 6. 日常の家事・仕事 |
| 7. 収入・生活費に関すること | 8. 趣味がないこと |
| 9. 詐欺・悪質商法の被害にあうこと | 10. 生活に必要な情報の収集 |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

問 13 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある |
| 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある |
| 5. ほとんどない | |

問 14 以下の通信・通話機器を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 携帯電話(スマートフォン以外) | 2. スマートフォン |
| 3. タブレット端末 | 4. パソコン |
| 5. どれも使っていない | |

→ 問 14 において、「5. どれも使っていない」以外を選択した方にうかがいます。

問 14-1 通信・通話機器をどのようなことに使用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 通話・メール | 2. 写真撮影 |
| 3. ゲーム | 4. 動画・テレビ視聴 |
| 5. ネットショッピング | 6. 健康管理 |
| 7. インターネット検索 | 8. LINEなどSNS |
| 9. 決済サービス | 10. その他 () |

《4. 地域の活動への参加状況や、地域のたすけあいに対する考えについてうかがいます》

問 15 地域活動について、以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①から⑧についてそれぞれ1つに☑)

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
② スポーツ関係のグループや クラブ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③ 趣味関係のグループ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④ 学習・教養サークル	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 介護予防のための通いの場	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑥ シニアクラブ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑦ 自治会・町会	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑧ 収入のある仕事	☐	☐	☐	☐	☐	☐

問 16 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 17 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 18 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり(住民同士の助け合い・支え合い等)の必要性についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 必要だと思う 2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要ないと思う 4. 必要ないと思う

問 19 あなたの日々の暮らしの中で、地域とのつながり(住民同士の助け合い・支え合い等)を実際に感じることはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 感じる 2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない 4. 感じない

問 20 介護を必要とする高齢者の増加に対して、介護人材の担い手が不足していることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

問 21 急速な少子高齢化による現役世代の減少で労働力不足が進んでいます。

これにより、今後、ホームヘルパー等介護人材の確保が一層困難になると想定されていますが、あなたや家族が要支援・要介護認定を受け、介護サービスを受ける場合、介護の専門職でないボランティアに依頼しても良いと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 日々の見守りのための声かけ | 2. ごみ出しなどのちょっとした作業 |
| 3. 掃除の手伝い | 4. 料理の手伝い |
| 5. 洗濯の手伝い | 6. 趣味活動への同行 |
| 7. 買い物 | 8. 相談相手 |
| 9. 依頼できることはない | |

問 22 高齢者の生活支援を目的としたボランティア活動について、対価がある場合とない場合のどちらが望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 無償で行うべきだと思う |
| 2. 有償で行うべきだと思う(交通費補助や謝礼など)。 |

問 23 高齢者の生活を支援するためのボランティア活動に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 無償でも参加したい。 |
| 2. 有償ならば参加したい(興味がある)。 |
| 3. ボランティア自体に興味がない(対価に関わらず参加しない)。 |

問 24 あなたがボランティアとして活動する場合、どのような内容であれば手伝っても良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 日々の見守りのための声かけ | 2. ごみ出しなどのちょっとした作業 |
| 3. 掃除の手伝い | 4. 料理の手伝い |
| 5. 洗濯の手伝い | 6. 趣味活動への同行 |
| 7. 買い物 | 8. 相談相手 |
| 9. その他() | |

→ 問 23 において「2. 有償ならば参加したい(興味がある)」を選択した方にうかがいます。

問 25 あなたが有償ボランティアとして活動する場合、適切な対価は1時間あたりいくらだと考えますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 500 円程度で行うのが妥当である。 |
| 2. 1,000 円程度で行うのが妥当である。 |
| 3. その他() 円程度 |

問 26 あなたが有償ボランティアを依頼する場合、報酬は1時間あたりいくらが適切だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 500 円程度で行うのが妥当である。
2. 1,000 円程度で行うのが妥当である。
3. その他 () 円程度

《5. 認知症についてうかがいます》

問 27 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 28 自分自身や家族に認知症の心配が出た際に、どこに(誰に)相談しようと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. かかりつけ医2. 病院・診療所等(精神科・神経内科・認知症専門外来等がある医療機関等)3. 地域包括支援センター4. 区役所・保健所5. ケアマネジャー6. 民生委員7. 社会福祉協議会8. 認知症の方と介護者を支援する家族会や NPO 法人9. その他 ()10. わからない | |
|--|--|

問 29 認知症基本法に基づき、国では、認知症とともに希望を持って生きるという「新しい認知症観」を示しています。あなたは、「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 言葉、内容も知っている2. 言葉を聞いたことがあるが、内容はよく知らない3. 言葉も内容も知らない |
|--|

問 30 認知症になった人について、あなたがもっとも近いと感じるイメージをご回答ください。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 認知症になっても、ほぼ従来通りの自立した生活ができている2. 認知症になっても、地域のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けられる3. 認知症になると、医療や介護等のサービスが必要となり、住み慣れた地域での生活継続が困難になる4. 認知症になると、症状が進行し、徐々に自立した生活が困難になる5. わからない |
|--|

問 31 認知症の人とともに生きる、優しい地域づくりとして以下のことは実現できていると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 区民が「新しい認知症観」を理解していること | |
| 2. 日常生活において認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できること | |
| 3. 認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること | |
| 4. 認知症の人が、就労、ボランティア、趣味の活動など地域や社会で人と関わっていること | |
| 5. 認知症の人が地域で役割を果たしていること | |
| 6. 認知症の人が自分らしく暮らせること | |
| 7. その他 (|) |

問 32 認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにするために効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい(現在取り組んでいるものを含む)ことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 定期的な運動 | 2. 運動と頭の体操の組み合わせ |
| 3. バランスの取れた食事 | 4. 禁煙、飲酒制限 |
| 5. 社会参加・活動 | |
| 6. かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談 | |
| 7. その他 (|) 8. 特にない |

問 33 区が実施している認知症施策を知っていますか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 大田区認知症サポートガイド～認知症ケアパス～ | 2. 認知症サポーター養成講座 |
| 3. 高齢者見守りアイコンシールと見守りシール | 4. 認知症カフェ(オレンジカフェ) |
| 5. 高齢者見守りメール | 6. 認知機能検診 |
| 7. 若年性認知症支援相談窓口 | 8. 知っているものはない |

問 34 若年性認知症※の支援には何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発 | |
| 2. 若年性認知症を診てくれる専門医療機関情報 | |
| 3. 身近な場所で気軽に相談できる相談窓口 | |
| 4. 家族や介護者同士が気軽に情報交換などができる場 | |
| 5. 就労支援 | |
| 6. 日中活動できる場 | |
| 7. その他 (|) |
| 8. わからない | |

※若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症を指します。

【原因となる疾患】アルツハイマー病、脳血管疾患、頭部外傷後遺症、前頭側頭葉変性症等

【症状】年齢的に若いことから、うつ病やストレス等といった他の病気と誤解されてしまい、なかなか診断がつかない場合も少なくありません。また、働き盛りに発症するため、治療や介護の期間が長期に渡り、本人や家族の経済面や心理面等における負担は大きいといえます。

《 6. 将来の生活や高齢者の介護についてうかがいます》

問 35 万が一介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。
(もっとも近い考え1つに○)

1. 自宅で主に介護サービス等を利用したい
2. 自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい
3. 子どもや親族等の家で介護をしてもらいたい
4. 公営住宅（シルバーピア等）での生活
5. 公的な施設（特別養護老人ホーム等）での生活
6. 民間の施設（有料老人ホーム等）での生活
7. その他（ ）
8. わからない

【各施設等の概要】

シルバーピア	収入に応じた家賃のバリアフリー公的賃貸住宅
特別養護老人ホーム	常時介護が必要で居宅の生活が困難な要介護者が対象の施設
有料老人ホーム	介護や生活支援を施設内で受けられる高齢者向け住まい

問 36 介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けるために、必要と感ずることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 医師による 24 時間対応の往診
2. ヘルパーや看護師による 24 時間対応の訪問ケア
3. 随時利用可能なデイサービスやショートステイ
4. 配食や買い物、ごみ出し等の生活支援サービス
5. 認知症に対応可能な医療・介護サービス
6. バリアフリーに対応した住まいの構造や設備
7. 介護や医療費に対する経済的負担の軽減
8. 困ったときにいつでも相談できる身近な場
9. 声かけや見守り等の地域の支え
10. 家族の理解・協力
11. その他（ ）
12. わからない

問 37 在宅医療サービス※に対する考えを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に利用したい
2. 必要があれば利用したい
3. できれば利用したくない
4. 利用するつもりはない

※ 在宅医療サービスとは、通院困難な方の自宅などを訪問して医療を行うことです。

問 38 これまでにご家族や親戚の方等の介護を行った経験はありますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. ある（現在も行っている）
2. ある（現在は行っていない）
3. ない

問 39 あなたが現在行っている中で不安に思う介護の内容、あるいは今後誰かの介護をすることを想像したときに不安を感じるものを教えてください。(あてはまるもの**3つまで○**)

【身体介護】

- | | | |
|--------------|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助（食べる時） |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

【生活援助】

12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15. その他（）
16. 不安に感じることは特にない 17. わからない

問 38 において「1. ある（現在も行っている）」と回答した方にうかがいます。

問 40 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

問 41 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

(あてはまるもの**3つまで○**)

- | | |
|--|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他（ ） | 10. 特にない |
| 11. わからない | |

《7. 大田区の取組についてうかがいます》

問 42 「地域包括支援センター」があること、相談や必要に応じたサービスを提供してくれることを知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている
2. 名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない
3. 名前は聞いたことがないが、そういう機関があることは知っていた
4. 知らない・名前も聞いたことはない

問 43 今後、大田区が特に力を入れて取り組むべきと考える事業・サービスを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 高齢者への就労支援 | 2. 高齢者の社会参加・ボランティア・交流の促進 |
| 3. 介護が必要にならないための介護予防事業の充実 | 4. 高齢者の見守り体制の充実 |
| 5. 困ったときに気軽に相談ができる体制の整備 | 6. 認知症の方やその家族への支援 |
| 7. 家族介護者への支援 | 8. 介護サービス事業者の質の向上や不正行為の防止 |
| 9. 住み慣れた地域での生活を24時間支える介護サービスの整備 | 10. 特別養護老人ホーム等の施設の増設 |
| 11. 地域全体で高齢者を支援する仕組みづくり | 12. 災害時に高齢者を支援する体制の整備 |
| 13. その他（ | ） |
| 14. わからない | 15. 特にない |

問 44 大田区の高齢者福祉施策、介護保険事業及び認知症施策についてご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないかご確認いただき、返信用封筒にてご返送ください。
(切手は不要です)